

04
MARCH
平成28年3月3日

すなおにあかるく growing

発行/文京区教育委員会 庶務課 編集/文京区青少年委員広報誌編集委員 TEL: 03-5803-1306

◀「すなおにあかるく growing」は従来の青少年委員日より「すなおにあかるく」を引き継ぎ、青少年委員に関する情報を発信してまいります。

文京区青少年委員は、各小・中学校長より推薦され、文京区教育委員会から委嘱された非常勤公務員です。学校支援を中心に青少年健全育成の推進に努め、学校と地域のパイプ役やコーディネーターとしての役割を担っています。

まなびの合宿 in 八ヶ岳



野辺山宇宙電波観測所にて

夏休みも終盤を迎えた8月21日～23日の3日間、「まなびの合宿」を文京区立八ヶ岳高原学園で行いました。このような行事は昨年度に引き続き2回目となります。

合宿に参加したのは、文京区内に在住在学の小学4年生から中学3年生までの希望者です。子どもたちは自らの目標を設定し、高校生スタッフや青少年委員のアドバイスを参考にしながら、集中して学習を行いました。そして夜には、一日の学習が計画通りに進んだかどうかや翌日の目標等を、一人ひとりがみんなの前で発表していきました。自分の行動を振り返り自分の考えを言葉にすることは、とても勇気が要ることです。青少年委員から発表方法を繰り返し学びながら、子どもたちはしっかりと意見を述べるようになりました。

また昨年度の合宿と比べ、今回は様々な「まなび」の実践に焦点を当て、スポーツ・自然体験・工作などをプログラムに組み込みました。机上の学習のみに偏らないプログラムは参加者にも好評で、自主学習のよい気分転換にもなっている様子でした。

八ヶ岳にある野辺山宇宙電波観測所では施設職員のご厚意により、普段は立ち入れない観測所の仕事場まで見学させていただきました。電波観測の仕組みを学べただけでなく、大型コンピューターが立ち並ぶ施設内で今まさに観測されている波形に触れ、職員の方々と直接お話できたことは、子どもたちにとって貴重な体験となりました。

今後とも子どもたちに多様な体験の機会が提供できるように、企画を考え工夫してまいります。多くの子どもたちのご参加をお待ちしています。



1月31日
シビックホール 小ホール

「演じて奏でるあなたが主演」をキャッチコピーに、青少年関連団体や個人による歌やダンス、楽器演奏など、日頃の活動の成果を発表する場として、第22回コミュニティプラザを開催しました。

湯島はやし連

私たち「はやし連」は今年で結成40年を迎えます。祖父たちから代々受け継がれてきた伝統を守っていきます。5月の湯島天満宮の例大祭で、祭りが盛り上がるように演奏したいと思えます。



フラサークル ラウレア

笑顔で楽しいレッスンがモットーです。フラソングに癒されながらうたの意味も表現します。ゆったりと穏やかな時を楽しい仲間と過ごす、元気いっぱいになります。



フューチャースターズ
(チェリーツリーサイド)

「歌・絵・ピアノ・ダンスを通し共に生きる」を原点に活動を始め、5月で20年目になります。今は8人の仲間でフューチャースターズとして、発表の場を広げて楽しんでます。継続は力と教えてくれるみんなです。ありがとうございます。



第22回 コミュニティ ～ 演じて 奏でる

ハラウ フラ オ
モアニケアラ

千駄木・四ツ谷から参りましたハラウ フラ オ モアニケアラです。今日は家族やお友達に見守っていただきながら、精一杯頑張って踊りました。どうぞよろしくお願いたします。



文京区立第三中学校
ウクレレ部

ウクレレ部は創立3年目の部活です。昨年はジ・ウクレレコンテストに出場しました。部員全員が一生懸命練習を重ねてきたので、審査員特別賞をいただくことができました。是非ウクレレ部に入部し、私たちと本物の音楽を体験しましょう。



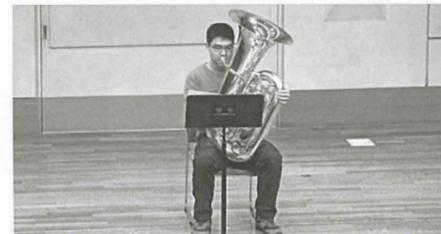
M☆S Dance クラブ

目白台第二児童館にて週3回、子どもと大人のダンスクラスを行っています。ダンスが初めてでも踊ることの楽しさを大切に、親切に楽しくレッスンします。是非いつでも気軽に、遊びに来てくださいネ!



水木一志

高校の吹奏楽部でチューバを担当しています。金管楽器の中で一番低い音で普段は目立ちませんが、僕はこの楽器の音色が大好きです。皆様にも少しでもチューバの魅力が伝えられていたら嬉しいです。



城北
ブロック
研修会

10月17日(土)

荒川区日暮里のホテルラングウッドにて、東京都青少年委員連絡会に所属する城北ブロック研修会が開催されました。荒川区、台東区、北区、文京区からなる城北ブロック。今年度は荒川区の青少年委員連絡会が研修会を企画運営しました。講師にカウンセリング研修センター学舎(まなびや)「ブレイブ」室長の大熊雅士氏を迎え、「シックスハットシンキング・会議」の有効な発想法を学びました。創造・楽観・慎重・事実・感情・調整という6つの役割が各人に割り振られ、その役割を交代しながら立ったまま会議を進めるという、通常の会議の在り方とは違う方法でした。

この発想法を利用しながら、ランダムにテーブルについた各区の青少年委員が「子どもにとって良い空間とは」について話し合い、発表をするという形式で研修を進めました。戸惑いながらも会議が進むにつれ活発な意見が出され、テーブル毎に特色のある発表が行われました。その後の懇親会もとても有意義な時間となり、この城北ブロック研修会が委員の情報交換や活動状況を共有できる貴重な場であることを再認識いたしました。

28年度は文京区にて開催予定です。有意義で楽しい研修会を開けるよう、準備を進めていきたいと思えます。



オーバーナイト
ウォーク

11月28日(土)から
29日(日)

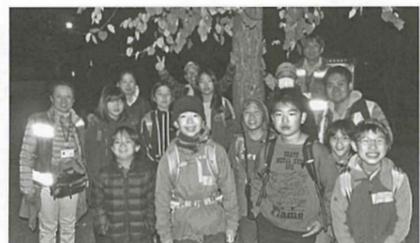
数年前まで実施されていたオーバーナイトウォークを今年度再開いたしました。以前は「東京の夜景を楽しみながら長距離をみんなで踏破する」という内容でしたが、今回は「夜の文京区を知る」ということに重点を置きました。

28日の19時、参加者が続々と文京区青少年プラザb-labに集まって来ました。翌朝5時に本郷児童館へ全員で到着することを目標として、小学生が3つの班、中学生が2つの班に分かれ、70名以上(スタッフ等も含む)が出発しました。

意気揚々歩き出した子どもたちですが、なかには寒さや疲れからすぐに音を上げる子も出てきました。そのようなときには「一緒にがんばろう!」と励ましリーダーシップを発揮する子がグループから必ず現れます。学校も違う初対面の集団からリーダーが自然と決まってくると、困難と一緒に乗り越えようとする団結力が高まってきます。リーダーシップを発揮する子はグループに1人とは限りません。力を合わせて前向きに物事に取り組んでいこうとする体験は、生きる力を身に付けることに役立っていくと考えています。

やっと夜が明け始めた29日の早朝、無事に本郷児童館へたどり着きました。子どもたちからは、疲れ切ったなかにも満足そうな様子がうかがえました。

この事業には企画段階から高校生や大学生のボランティアスタッフに関わってもらいました。防犯や夜間避難の観点から、文京区の街はどこが暗くてどの道が比較的 безопасなのか、坂の多い文京区の地形を体感してもらうコースはどう設定するのか、子どもたちが飽きないようにゲーム性を持たせながら夜食の補給場所をどう確保するかなどを考慮しながら、青少年委員と一緒に高校生や大学生のボランティアスタッフも話し合いをしてきました。彼らには、将来企画運営を自ら行える力を学び取って欲しいと期待しながら、共に活動しています。これからも彼らの活動を支援してまいります。



本郷小学校合唱団

結成して3年が経とうとしています。毎年少しずつ活動が広がっています。今回コミュニティプラザで歌う機会を頂き、はりきって練習に取り組んできました。これからも心を合わせることを忘れず、楽しく歌いたいです。



ナプアフラサークル

3歳の幼稚園児から小学生を中心に活動しているケキフラグループです。お客様に笑顔と感動を与えられるフラを目指し、いつも元気に仲良くレッスンに励んでいます。



アンサンブル 華みずき

アンサンブル華みずきは、和太鼓・合唱・阿波踊りを、月3回区立第三中学校で練習しています。今回は和太鼓で「飛翔」という曲を演奏しました。みんな精一杯心を込めて太鼓をたたきました。今後とも応援をよろしくお願いいたします。



B A Z Z

BAZZ(バズ)は、昨年11月に結成された、文京区の中高校生によるビッグバンドです。普段はb-labで練習しています。3月20日にはb-labにてコンサートを開催します。皆さん、ぜひ観に来てください。



ニ テ イ プ ラ ザ あ な た が 主 役 ~

汐見どんどこ会

汐見どんどこ会は結成されてから20年が経ちます。和太鼓や民舞の大好きな子どもたちが、汐見小学校のイベントや下町祭りなどで日頃の練習成果を発表しています。1年生から6年生まで部員19人で楽しくやっています。



ヘレイピリナへ

私たちヘレイピリナへは、駒込駅前で毎週レッスンに励む、小さな子どもがいるママたちのフラサークルです。子育てや仕事に忙しい毎日の中でも、アロハの心を忘れずに、楽しくフラダンスでリフレッシュしています。



b-lab band union

b-labでは、毎日たくさんの中高校生バンドが活躍しています。今回は、普段それぞれのバンドで活動するメンバーでコミュニティプラザのためのバンドを結成しました。中高生の皆さん、一緒にバンド、始めませんか？



舞台袖でアナウンスを担当していたのは、文京区青少年プラザb-labで活動している中高生たちでした。彼らは午前中のリハーサルから、裏方として委員と一緒に頑張ってくれました。

これからも青少年の皆さんが様々な場面で活躍できるように、活動の場を提供していきたいと考えています。



中学生サミット

12月5日(土)

第43回中学生サミット連絡会が、文京区青少年プラザb-labで開催されました。今回のホストは第一中学校生徒会役員です。彼らの工夫を凝らしたアイスブレイキングで場が和んだところで、話し合いが始まりました。

1つ目のテーマ「自校の生徒会が力を入れていること、困っていること」では、多くの学校で挨拶運動や募金活動、ペットボトルキャップ回収などに取り組んでいるほか、他の学校ではあまり見られない地域清掃やいじめ撲滅運動、1年生を対象とした定期考査必勝講座を行っている学校もありました。各校の発表後は、活動で困っている点を解消するために、他校の活動からヒントを得ようと積極的な意見交換が行われました。

2つ目のテーマ「中学生の携帯電話事情」では、最初に3グループに分かれて意見を話し合った上で全体会議に場を移し、「家族で使用時間や優先順位のルールを決めて生活リズムを整える」「携帯だけに頼らず、会話でコミュニケーションをとる」「個人のプライバシーやマナーを守って生活する」という3つの「文京区の中学生ルール」を決定しました。

区立中学校の生徒会役員が一堂に会するこの行事には、中学校校長先生や保護者などの中学校関係者だけでなく、区長や区議会議員など多くの来賓にもご来場いただきました。



学校支援活動

活動の一例として今回ご紹介するのは、11月7日(土)に指ヶ谷小学校で開催された「100周年記念けやきの森フェスタ」の様子です。

午前中に子どもたちによる学芸会が熱演され、午後から開校100周年を記念してのコンサートが始まりました。青少年委員は、このコンサートにプロのマリンバ奏者とピアノ奏者をお招きするお手伝いをしました。

第一部は柔らかく軽快なマリンバの世界を展開、子どもたちは真剣な表情で耳を澄ませ聴き入って、最後には手拍子も交えて身体を揺らしながら全身で音楽を楽しんでいました。

◀指ヶ谷小・けやきの森フェスタの様子▶



◀青柳小・地域安全マップ作りの様子▶



第二部では毎年恒例となっているPTA・学校職員・地域の皆さんが一体となった合唱。今年は特別にマリンバとピアノの伴奏で歌いました。アンコールでは子どもたちも一緒になって校歌を大合唱し、100周年の思い出に残る一日となりました。

指ヶ谷小学校の伝統として引き継がれている「けやきの森フェスタ」。今後もPTAや地域の皆さまと協力しながら、子どもたちのために温かく盛り上げていけたらと思っています。

次にご紹介するのは、青柳小学校3年生、社会科の授業「地域安全マップ作り」の様子です。

子どもたちは10班に分かれ、実際に歩きながら街の様子を学びました。

事前学習で犯罪の起こりそうな危ない場所と安全な場所の見分け方を学び、この日は実際に記録用紙に見たことや感じたことを記入しながら歩きました。

青少年委員は、学校外での学習が安全に行えるようにボランティアを募集し、見守りのお手伝いにも加わりました。今後も必要に応じて、先生方の学習支援を行いながら、学校と地域を繋いでまいります。



10年間ありがとうございました

青池 典人
(誠之小)



《全ては子どもたちのために》

「青少年委員って何をしているの？」10年前はよく聞かれました。中学生サミットや五者研など、委員会の中では意義を持って一生懸命やっているのに、伝わっていないと感じていました。当時の中学生サミットには、開催校の関係者以外観客はなかったので、副校長の方々に「子どもたちのサミットを聴いて下さい」とお願いしたのが、今のように多くの方に傍聴していただくきっかけでした。五者研を継続するか検討していたときも「副校長とPTA、青少年委員のパイプを太くするために」そんなお話を「是非続けましょう」と言っていたときは、間違っていないかと思えました。今後は小学生向けの事業を充実させたいと、仲間たちが活動しています。「全ては子どもたちのために」行政や学校、PTA、地域、青少年委員も思いは一緒です。これからも頑張ります。10年間ありがとうございました。

磯貝 純子
(青柳小)



《10年間を振り返って》

文京区青少年委員として最初に委嘱状をいただいてから、10年が経とうとしています。早かったようでもあり長かったようでもある10年間でした。楽しいこともつらいこともあった10年間でした。多くの皆さんとの出会いの10年間でした。出会うことができたすべての人に感謝です。

10年の中での一番の思い出は、青少年リーダーや参加者の皆さんと一緒に実施した数々のイベントでしょうか。私は、青少年との関わりがあってこそその青少年委員だと思います。今後ともぎれることがなく、この活動が続くことを願ってやみません。

最後に、10年間本当にありがとうございました。

岡崎 礼子
(湯島小)



《感謝の心で卒業します》

「岡崎さん、青少年委員をお願いできますか？」と推薦をしていただき今年で5期10年を迎えることができました。委嘱状を受け取ったときには、とても緊張していたのを覚えています。

「学校と地域のパイプ役」として活動する中で元気いっぱい子どもたちと触れ合い、私自身が元気をもらったように思います。青少年委員として活動した10年間は本当にたくさんの貴重な経験をさせていただきました。多くの方に支えていただき卒業できることに感謝の思いでいっぱいです。お世話になりましたすべての皆様、本当にありがとうございました。

山田 久慈子
(小日向台町小)



《ありがとう》

委員としての活動の場面は様々ありました。その中でも一個人委員の活動では決してできない宿泊を伴う「自然冒険塾」・「文の京体験塾」と形を変えながらも年間を通しての活動、近年では八ヶ岳での「勉強合宿」等で参加者（保護者の方々を含めて）との出会いに関わったことは事務局や各委員と連携プレーがあってこそ。思いもよらない程に楽しく充実した時間でした。

少しずつ成長し、次世代を創りつつある参加者の姿に私自身が勇気をもらいました。

この10年間で、私は「文京区」に生まれ育った我が家のメンバー以上に「文京区」事情に詳しくなったと思います。



文京区青少年委員制度50周年



平成28年1月20日ホテルパークサイドにおいて、文京区青少年委員制度50周年を祝う新年会が開催されました。

日頃から青少年委員会をご支援いただいている青少年健全育成会代表者の皆様やスポーツ推進委員・保護司等の地域の皆様、区立小中学校副校長会・PTA連合会代表の皆様、元青少年委員並びに行政担当の皆様をお迎えし、感謝の気持ちと今後の活動への抱負をお伝えする機会となりました。

「日本の青少年は自己肯定感が低い」と話されたご来賓がいました。我々はこれからも様々な体験の機会を増やし、自然や人との関わり合いの中で自己肯定感を育てる活動をしていきたいと、改めて思いを強くいたしました。



文京区長 成澤 廣修

青少年委員制度が都から区に移管され、文京区青少年委員会が発足50周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。また、青少年委員の皆様には、日頃から文京区の子どもの健全育成や学校支援にご協力を賜り誠にありがとうございます。

青少年委員は、戦後の混乱期に、青少年の健全育成を目的に設立されましたが、昨今のIT化、社会・経済のグローバル化や家族形態の多様化など、その当時とは子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。しかし、青少年の健全育成には、家庭・地域・学校の連携が不可欠であることに変わりはありません。次代を担う青少年の健やかな成長のために、これからも変わらぬご支援よろしくお願い申し上げます。

結びに、青少年委員の皆様のご活躍とご健勝を祈念し、お祝いの挨拶とさせていただきます。



青少年委員会会長 石田 幸雄

文京区青少年委員制度50周年をお祝い申し上げます。

本年度はこの半世紀の青少年委員会の歴史に際し、沢山の先輩達が残してくれた過去の素晴らしい業績を振り返る良い機会となりました。これまで様々な事業が継承されていますが、とくに五者合同研修会・中学生サミット連絡会、これらは現在の青少年委員会においても発展しつつメインの事業として行われています。また、近年においては清掃ボランティア活動としてのクリーンウォークが恒例の事業として実施されています。

青少年委員会は地域と学校のパイプ役として「個が輝き共に生きる」を掲げ、文京区の子どものために、文京区ならではの気風と伝統を受け継ぎしっかりと歩み続けてまいります。今後とも皆様よろしくお願い申し上げます。

■インフォメーション

28年度も様々な事業を通じて、学校と地域を繋ぎながら子どもたちのために活動を続けてまいります。皆様の参加をお待ちしています。

各青少年委員の活動内容や、今回ご紹介しきれなかった活動報告・行事予定などは、青少年委員会のホームページに掲載されています。是非ご覧ください。

【ホームページアドレス】<http://www.bunkyo-seishounen.com/>

■事務局より

永きに渡り、青少年委員としてご活躍いただき、この3月末で退任される委員の皆様、本当にお疲れ様でした。各委員が時かれた種は、きっと大きく健やかに成長することと思います。そして、その種がどのような花を咲かすのか、そんな期待を未来に託すことも教育の醍醐味かもしれません。

教育委員会へ移管後の2年という短い期間でしたが、様々なことを学ばせていただき、感謝いたします。本当にありがとうございました。
(事務局一同)